

(別添)

東京臨海病院 公的医療機関等2025プラン

平成29年9月 策定

【東京臨海病院の基本情報】

医療機関名：日本私立学校振興・共済事業団 東京臨海病院

開設主体：日本私立学校振興・共済事業団

所在地：東京都江戸川区臨海町一丁目4番2号

許可病床数：400床

（病床の種別） 一般病床

（病床機能別）急性期

稼働病床数：400床

（病床の種別） 一般病床

（病床機能別）急性期

診療科目：内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、神経内科、リウマチ膠原病内科、糖尿病内科、緩和ケア内科、精神科、小児科、外科、救急科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、呼吸器外科、耳鼻咽喉科、放射線科、眼科、麻酔科、リハビリテーション科、病理診断科

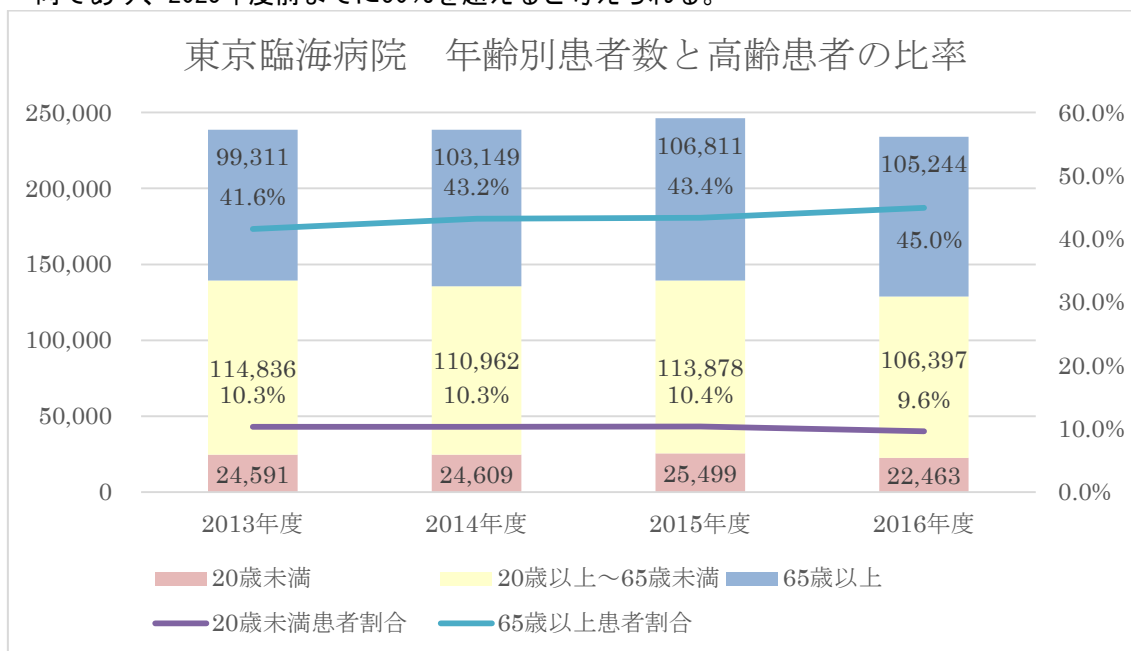
職員数：

- ・ 医師 82名
- ・ 看護職員 351名
- ・ 専門職 87名
- ・ 事務職員 38名

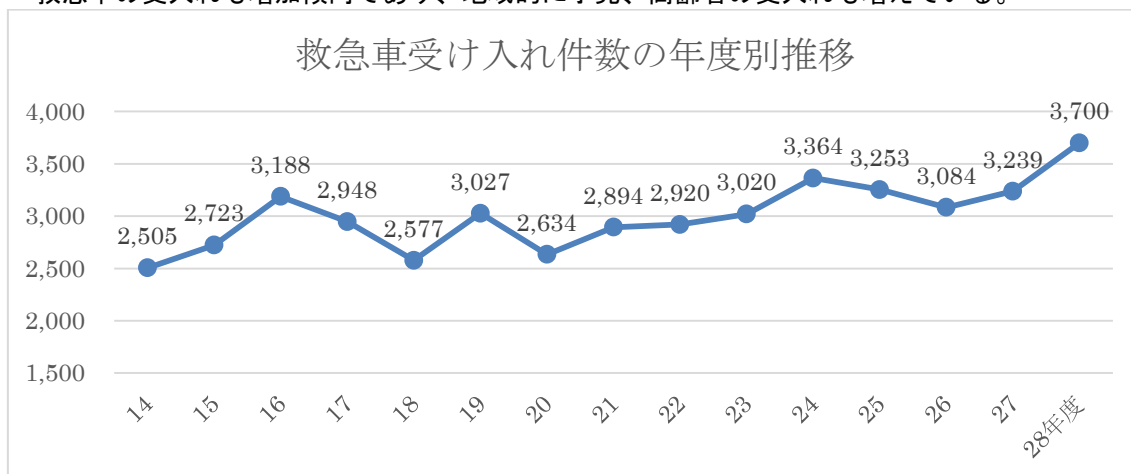
【1. 現状と課題】

① 構想区域の現状

・都の資料から区東部の人口全体では、全体では横並びであるが、高齢者人口が増加し比率も増えて来るが、当院の患者において、生産年齢の比率が減少し、高齢者の比率が年々増加傾向であり、2025年度前までに50%を超えると考えられる。



・救急車の受入れも増加傾向であり、地域的に小児、高齢者の受入れも増えている。



② 構想区域の課題

- ・東京都がん診療連携協力病院指定でもあり、都が課題としている地域でのがん治療の体制強化について、強化していく必要がある。
- ・急性期医療の提供体制について、複数の医療機関で一部機能が重複している
- ・急性期医療を受けた後の患者の受け皿となる医療機関が不足（いわゆる出口問題が深刻）等

③ 自施設の現状

- ・理念、基本方針等

基本理念

患者中心の病院とし、病院と患者の相互信頼に基づく医療を展開します。東京臨海病院は、私学共済制度加入者とそのご家族の健康増進・疾病予防に努めることはもとより、地域に開かれた、温かく親しみにあふれる医療を提供します。

基本方針

1. 職域病院として加入者等が高機能的な診療をいつでも受けられるようにします。
2. 地域に不足する医療を中心に、地域医療に積極的に協力します。
3. 医療の質と安全を確保しつつ、さらに医療水準の向上を図ります。
4. プライバシーを保護し、インフォームド・コンセント (Informed Consent, IC) に基づく患者の権利を尊重した医療、科学的根拠に基づいた医療 (エビデンス・ベースド・メディスン Evidence Based Medicine, EBM) を提供いたします。
5. 健全な病院経営を図ります。

- ・診療実績（届出入院基本料、平均在院日数、病床稼働率、等）

届出入院基本料	7対1入院基本料
平均在院日数	12日（平成28年度）
病床利用率	78.6%（平成28年度）

- ・職員数（医師、看護職員、その他専門職、事務職員、等）

職員数：

- ・ 医師 82名
- ・ 看護職員 351名
- ・ 専門職 87名
- ・ 事務職員 38名

- ・特徴

- ・ 4機能のうち急性期医療が中心

③ 自施設の課題

- ・がん診療連携拠点病院の認定を目標に課題を検討する。
- ・急性期医療として当院が機能するために、他の医療機関と連携して、紹介、逆紹介を積極的に行う必要がある。
- ・救急応需率、入院稼働率、手術数の向上
- ・医師、看護師の人材確保

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～④を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

- ・3次医療救急機関は、区東部に葛飾区を入れて180万人に1箇所しかない。その問題をカバーする為、3次医療機関の負担軽減を目的として、当院の2次医療救急体制をより強化する必要がある。
- ・がん診療連携協力病院として、がん治療の診療連携を強化し、患者の区域外流出を減らす。

② 今後持つべき病床機能

- ・当院は、地域に開かれた病院であると同時に職域病院としての使命がある、よって、今後持つべき病床機能については、現状維持を堅持し、急性期医療を充実する。

③ その他見直すべき点

・

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4 機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成28年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期	10床	→	10床
急性期	390床		390床
回復期			
慢性期			
(合計)			

<年次スケジュール>

	取組内容	到達目標	(参考) 関連施策等
2017年度			
2018年度			
2019～2020 年度			
2021～2023 年度			

② 診療科の見直しについて

検討の上、見直さない場合には、記載は不要とする。

<今後の方針>

	現在 (本プラン策定時点)		将来 (2025年度)
維持		→	
新設		→	
廃止		→	
変更・統合		→	

③ その他の数値目標について

<p><u>医療提供に関する項目</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病床稼働率：80% ・ 手術室稼働率：50% ・ 紹介率：40% ・ 逆紹介率：40% <p><u>経営に関する項目*</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人件費率： ・ 医業収益に占める人材育成にかかる費用（職員研修費等）の割合： <p>その他：</p>

* 地域医療介護総合確保基金を活用する可能性がある場合には、記載を必須とする。

【4. その他】

(自由記載)

--